

広東省・広州市・深圳市週報

2017年12月25日～2018年1月7日

1. 広東省

1. 反腐敗にかかる処分

●26日、省人民検察院は葉勝坤・元梅州市人代常務副主任（副庁級）を収賄罪で逮捕することを決定したと発表（12月27日付『南方日報』）。

2. 人事異動

●先頃、党中央が張利明・省軍区司令官の省党委員会常務委員就任を承認した（2018年1月3日付『南方日報』）。

3. 水陸両用大型航空機AG600が珠海市で初飛行に成功

●24日、消火・海上救援を行うための水陸両用大型航空機AG600が珠海市で初飛行に成功し、馬凱・副総理が関連イベントに出席するとともに挨拶を行なった。李希・省党書記、丁学東・國務院副秘書長、苗圩・工業・情報化部長、馬興瑞・省長、劉偉・財政部副部長、李健・中国民用航空局副局長等も出席（12月25日付『南方日報』）。

4. 馬興瑞・省長がガンビア大統領一行と会談

●25日、上記会談で馬興瑞・省長は一行の訪問を歓迎するとともに、広東省が第19回党大会の精神を学習・貫徹するために採っている措置、同省の経済・社会の発展状況を紹介した。ガンビア大統領は次のように述べた。同国は中国との関係を発展させることを非常に重視しており、「1つの中国」政策を堅く守り、農業、観光等の分野における同省との協力を強化し、双方の友好関係の更なる発展を推進していきたい（12月26日付『南方日報』）。

5. 黄業斌・省人代副主任一行がメキシコ、コスタリカを訪問

●先頃、黄業斌・省人代副主任率いる省人代代表団がメキシコ、コスタリカを訪問し、黄副主任が両国の政府要人と会談。TCLメキシコ工場、COSCOメキシコ支社を訪れるとともに、広東省出身の中国人を慰問し、両国で現地の華僑のリーダーと懇談を行い、現地状況について理解を深めた（12月27日付『南方日報』）。

6. 省政協第11期常務委員会第23回会議の開催

●27日、王栄・省政協主席主宰の上記会議が開催され、馬興瑞・省長が「政府活動報告（意見募集稿）」の説明と政府部門による2017年の政協からの提案に対する処理状況に関する報告を行なった（12月28日付『南方日報』）。

7. 省人代常務委員会が2017年経済動向分析会議を開催

●27日午前、上記分析会議が開催され、2017年の省経済の動向を深く分析し、2018年の経済・社会の発展状況に対する検討・評価を行い、まもなく開催される省人代第13期第1回会議での2017年の計画・予算執行状況報告、2018年の計画・予算草案の審査・承認に向けて、しっかりと準備を行なった。李玉妹・省人代主任が出席するとともに講話を行なった（12月28日付『南方日報』）。

8. 省党常務委員会会議の開催

●2日、李希・省党書記主宰の上記会議が開催され、中央農村工作会議、「四好農村路」の建設推進に関する習近平・総書記の重要指示、全国組織部長会議の精神を伝達・学習し、広東省がそれを貫徹・実行するための意見について検討した（2018年1月3日付『南方日報』）。

※「四好農村路」：2014年3月4日、習近平・総書記が出した要求。農村の道路環境をきれいに整備し、長距離バスでの移動や物流サービスシステムを健全に整え、都市・農村間の交通を一体化させ、小康社会の全面的な建設と新たなタイプの都市化という要求に呼应させること。

●先頃、李希・省党書記主宰の上記会議で、中央政治局による民主生活会の精神を伝達・学習し、広東省がそれを貫徹・実行するための意見について検討した（1月5日付『南方日報』）。

9. 省党第12期第3回全体会議の開催

●3日、省党常務委員会主宰の上記会議が開催され、李希・省党書記が省党常務委員会を代表し、業務報告を行い、馬興瑞・省長が経済業務に関する特別講話を行なった。同会議の主な任務は、第19回党大会の精神、中央農村工作会議、中央農村工作会議の精神を真剣に学習・貫徹し、習近平による新たな時代の中国の特色ある社会主義思想を導きとし、2017年の業務を総括し、2018年の業務を手配することである（1月4日付『南方日報』）。

10. 第11期省軍区党委員会第11回全体拡大会議の開催

●4日、上記会議が開催され、李希・省党書記兼省軍区党委員会第一書記が出席するとともに講話を行なった。同会議では上級関連会議の精神を伝達・学習し、2017年の業務を総括し、2018年の任務を手配。張利明・省党常務委員兼省軍区司令官が業務報告を行なった（1月5日付『南方日報』）。

1.1. 馬興瑞・省長が李慧琼・香港民主建港協進連盟主席一行と会談

●4日、上記会談で馬興瑞・省長は一行の訪問交流に歓迎の意を表し、次のように述べた。昨年7月1日、習近平・総書記自ら「広東・香港・マカオの協力を深め、ベイエリアの建設を推進する枠組み協定」の署名に立ち会い、同ベイエリアが国の戦略に格上げされたことで、広東省と香港の協力は重要な歴史的チャンスを迎えている。省党委員会・省政府は各分野における香港との協力を非常に重視し、中央の手配・要求を揺るぎなく貫徹・実行し、同ベイエリアの建設で実質的な進展が得られるよう積極的に推進し、より多くの円滑な措置と優遇政策を打ち出せるよう模索、かつそれを実行に移し、香港の人々が同省で発展できるよう良い条件を提供し、両地域の更に緊密な協力を推進していく（1月5日付『南方日報』）。

1.2. 広東（黒龍江）ウインター・シーズン観光プロモーションの開催

●4日、ハルビン市で上記プロモーションが行われ、鄧海光・広東省副省長、孫東生・黒龍江省副省長が出席。両省の政府、観光部門、旅行会社、メディア代表130人余りが参加し、観光業界の交流が行われた。省観光ビッグデータプラットフォームの試算によれば、2017年、黒龍江省から広東省への観光客数は前年同期比13.6%以上増加、広東省から黒龍江省への観光客数は同20%以上増加している（1月5日付『広州日報』）。

II. 広州市

1. 市党理論学習中心グループが特別報告会を開催

●25日、任学鋒・市党書記主宰の報告会で、王作安・国家宗教事務局局長が「宗教問題に関する習近平・総書記の重要な論述を学習する」と題したガイダンスを行なった。任書記が報告会の前に、王局長と懇談。陳建華・市人代主任、劉悦倫・市政協主席が出席（12月26日付『広州日報』）。

2. 広州空港委員会、広州港湾事務局が国際航空・国際海運ハブ建設の進捗状況を発表

●25日、市政府の定例記者会見で、広州空港委員会、広州港湾事務局がそれぞれ国際航空ハブ、国際海運ハブ建設の進捗状況について発表した。11月までに、白雲空港の海外運航地点は87か所、国内も含めた運航路線のネットワークは世界220か所となっており、本年の旅客数はのべ6500万人になる見込み。また、1月～11月の広州港の貨物取扱量は5.39億トンで、前年同期比8.8%増だった（12月26日付『広州日報』）。

3. 広州IAB計画関連

●26日、中国・シンガポール知識城で、宝能新エネ車、広東ICチップ・プロジェクト、ならびに広州開発区集積回路産業イノベーションパーク、知識城南方医院が着工した。任学鋒・市党書記、温国輝・市長、劉悦倫・市政協主席がそれぞれ姚振華・宝能集团董事长、李永喜・広州市金誉実業投資集团董事长、黄愷生・広州広東ICチップ半導体技術公司董事长、陳敏生・南方医科大学党書記、李文源・南方医院院長、朱宏・同院党書記と懇談。新エネ車、ICチップは2019年に生産開始、病院は2021年に営業開始の予定となっている（12月27日付『広州日報』）。

4. 各種党会議の開催

●28日、任学鋒・市党書記主宰の市党常務委員会拡大会議で、中央経済工作会議、省党常務委員会拡大会議の精神を伝達・学習し、それを貫徹・実行するための業務を手配（12月29日付『広州日報』）。

●5日午前、市党第11期第4回全体会議が開幕し、任学鋒・市党書記が第1回全体会議を主宰するとともに業務報告を行い、温国輝・市長が経済業務に関する特別講話を行なった（1月6日付『広州日報』）。

5. 広東省初の監察委員会の設置

●29日、広東省で初めてとなる監察委員会が広州市海珠区に設置された。同区の党常務委員兼紀律検査委員会書記が主任となり、副主任2人と委員4人も任命された（12月30日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 市政府党組織拡大会議の開催

● 25日午前、陳如桂・市長主宰の上記会議で、「四風」を更に正し、品行方正な仕事のやり方を強化することに関する習近平・総書記の重要指示の精神、中央経済工作会議の精神を伝達・学習し、市政府関連部門がそれを貫徹・実行するための措置について検討・手配（12月26日付『深圳特区報』）。

2. 全国裁判所破産裁判業務会議の開催

● 25日～26日、上記会議が開催され、周強・最高人民法院（最高裁判所に相当）院長が出席するとともに講話を行った。会議期間中、深圳知的財産権裁判所、深圳金融裁判所のプレート除幕式が行われ、王偉中・市党書記、張述元・最高人民法院副院長、同審判委員会専門委員の杜万華氏、劉貴祥氏、何忠友・副省長等が出席（12月27日付『深圳特区報』）。

3. 2017中国深圳実業家大会、世界黒龍江実業家大会の合同開催

● 26日晚、上記大会が開催され、王偉中・深圳市党書記、賈玉梅・黒龍江省副省長、陳如桂・深圳市長、杜吉明・黒龍江省政協副主席等が開幕式に出席するとともに、「中国に影響を与える深圳実業家のリーダー」、第10回「深圳実業家風雲児」、第8回「深圳老舗」、「全国10大黒龍江実業家」の称号を与えられた企業家・事業者に対する表彰式が行われた（12月27日付『深圳特区報』）。

4. 市党常務委員会会議の開催

● 4日、王偉中・市党書記主宰の上記会議で、中央農村工作会議、全国貧困救済開発業務会議、中央政治局による民主生活会の精神、省党第12期第3回全体会議の精神を伝達・学習し、それを貫徹するための意見について検討。「ビジネス環境の改革を強化することに関する若干の措置」について討議し採択（2018年1月5日付『深圳特区報』）。

5. 陳如桂・市長が英国国際貿易相と会談

● 5日午後、陳如桂・市長がリム・フォックス英国国際貿易相と会談し、南方科技大学とロンドン・キングスカレッジの協力覚書の署名式に出席。双方は、金融サービス、科学技術イノベーション、文化・クリエイティブ産業、教育・医療、ライフ・健康産業等の分野における交流・協力を更に強化し、協力の水準を高め、ウィンウィンの発展を実現していくと述べた。在広州英国総領事、高自民・副市長等も同席（1月6日付『深圳特区報』）。